

報 道 資 料

令和3年4月18日(日)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:西川、増井
報道機関専用電話:0742-27-8722(ダイヤルイン)内線:3220、3130
一般相談電話:0742-27-8561
福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:大西・安川
電話:0742-27-8935(ダイヤルイン)内線:3110、3109
総務部知事公室 防災統括室 担当:中野・小原
電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者の状況について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者が、82例(県内感染者4998～5079例目、うち奈良市発表事例40例(5040～5079例目))が発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実にしております。

- ・他府県発表との重複 : 169 例 (前日比+4)
- ・感染者数累計除外分 : 75 例 (前日比+1)
- ※県内で検査及び発生届を受理したが、県外で入院・入所等している場合は、県内感染者数に計上していません。
- ・死亡 : 61 例
- ・再陽性 : 6 例

1)入院病床及び宿泊療養室等の状況(午前9時時点)

※担当:地域医療連携課

重症対応病床	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
運用病床	30	21	+3	9	70%
確保病床	30	21	+3	9	70%

運用病床 病院別内訳	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
奈良県立医科大学 附属病院	14	11	±0	3	79%
奈良県総合 医療センター	6	5	+2	1	83%
南奈良総合 医療センター	2	2	±0	0	100%
奈良県西和 医療センター	2	1	+1	1	50%
市立奈良病院	2	0	±0	2	0%
大和高田市立病院	2	0	±0	2	0%
民間病院 B	2	2	±0	0	100%
計	30	21	+3	9	70%

入院病床	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
運用病床	378	281	+1	97	74%
確保病床	378	281	+1	97	74%

※ 重症対応病床を含む

運用病床 病院別内訳	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
奈良県立医科大学 附属病院	80	34	-1	46	43%
奈良県総合 医療センター	74	58	±0	16	78%
南奈良総合 医療センター	38	36	+3	2	95%
奈良県西和 医療センター	37	31	+1	6	84%
市立奈良病院	34	25	-1	9	74%
(独)国立病院機構 奈良医療センター	30	20	-1	10	67%
済生会中和病院	14	14	±0	0	100%
大和高田市立病院	12	8	±0	4	67%
生駒市立病院	12	12	±0	0	100%
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	11	±0	0	100%
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	10	9	+1	1	90%
民間病院 A	8	8	±0	0	100%
国保中央病院	6	5	-1	1	83%
済生会奈良病院	6	5	±0	1	83%
宇陀市立病院	4	3	±0	1	75%
民間病院 B	2	2	±0	0	100%
計	378	281	+1	97	74%

※ 重症対応病床を含む

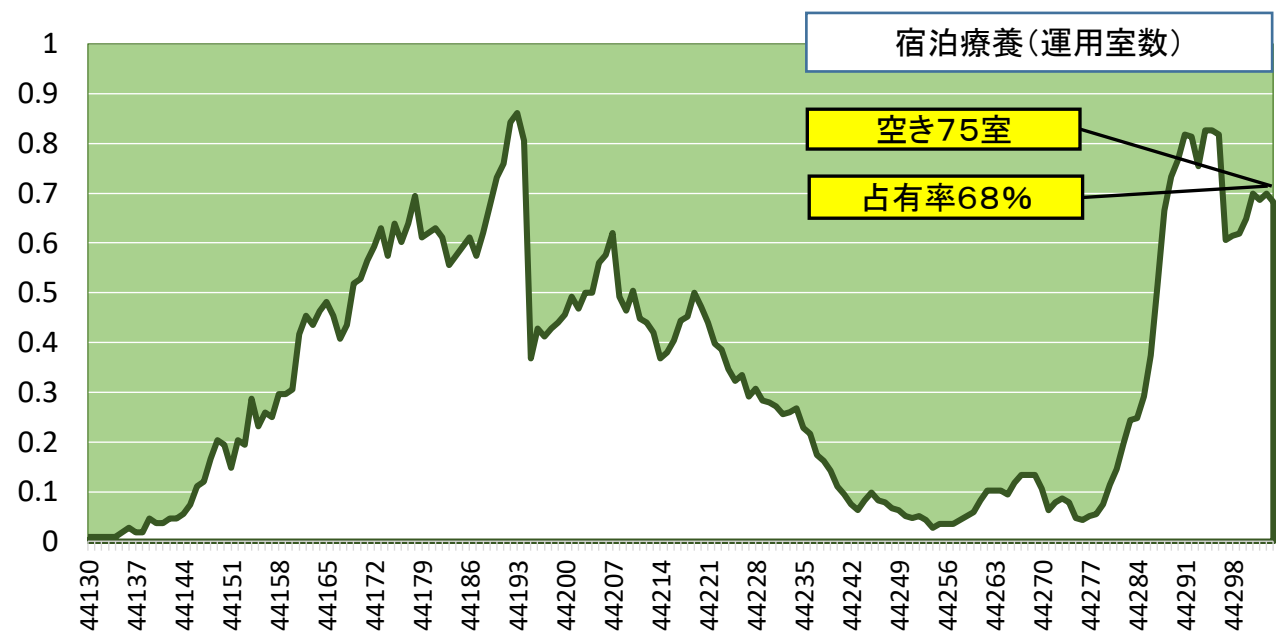
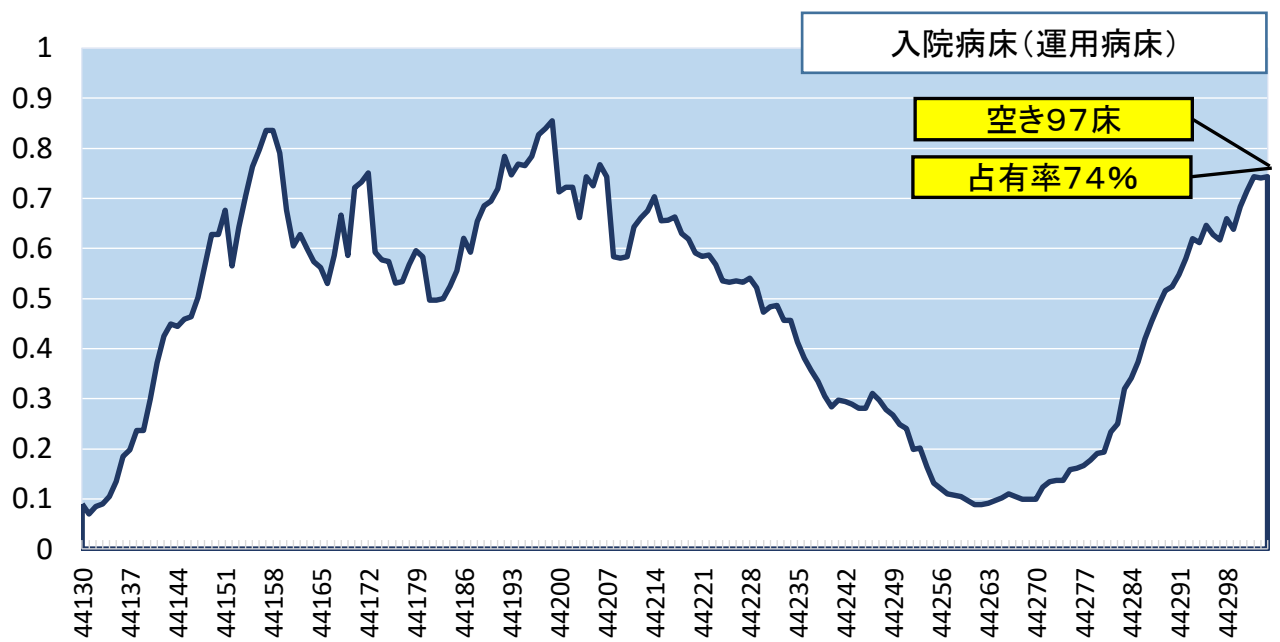
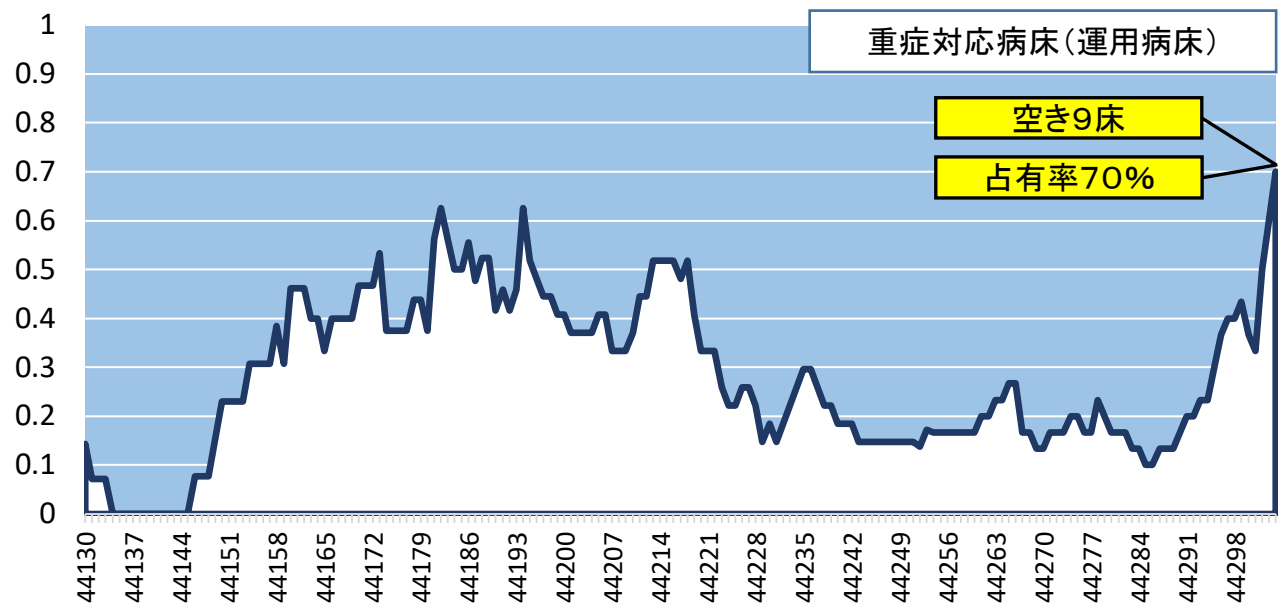
宿泊療養	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
運用室数	236	161	－4	75	68%
確保室数	254	161	－4	93	63%

※ 運用室数と確保室数の差は、設備のメンテナンスによるものです

運用室数 施設別内訳	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
東横INN 奈良新大宮駅前	114	69	－6	45	61%
(旧)ホテルフジタ奈良	69	51	＋2	18	74%
ビジネスホテル大御門	53	41	±0	12	77%
計	236	161	－4	75	68%

社会福祉施設等 療養	療養者数 (名)	対前日 (名)
－	0	±0

参考 占有率の状況



2)感染者数の状況(午前9時時点)

4／18に新たに判明した感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	82	1	1	80

4／18現在の感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	854	21	172	661
対前日(名)	+44	+3	+3	+38

4／18現在の感染者数累計		治癒	死亡 (※2)	入院・療養中 (※1)	入院・入所 準備中	現在感染者数 F (=A-B-C) (=D+E)
A		B	C	D	E	
人数(名)	5,079	4,164	61	454	400	854
対前日(名)	+82	+38	±0	－1	+45	+44

(※1)宿泊療養では複数名が1室に入居することがあるため、使用病床数及び入所室数等の合計と一致しない場合があります

(※2)直接の死因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった8例を含みます

※治癒者については、疾病対策課ホームページで定期的に掲載します

3) 感染者の概要

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
4998例目	40代	五條市	軽症	家族、職場	
	男性	会社員 (県内)		調査中	
4999例目	30代	橿原市	軽症	-	※大阪府重複例
	男性	会社員 (県内)		県内感染者と接触	
5000例目	30代	大和高田市	軽症	家族他	
	女性	介護従事者 (県内)		家庭内感染	
5001例目	20代	高取町	軽症	家族他	
	男性	会社員 (大阪市内)		調査中	
5002例目	10代	葛城市	軽症	家族他	
	女性	生徒 (県内)		調査中	
5003例目	70代	大和高田市	軽症	家族他	
	男性	会社員 (大阪市内)		調査中	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5004例目	50代	桜井市	無症状	家族	
	男性	会社員 (県内)		県内感染者と接触	
5005例目	20代	広陵町	軽症	家族他	
	女性	会社員 (県内)		県内感染者と接触	
5006例目	20代	葛城市	軽症	家族他	
	男性	会社員 (大阪市内)		調査中	
5007例目	40代	高取町	軽症	家族	
	女性	介護従事者 (県内)		県内感染者と接触	
5008例目	80代	河合町	軽症	家族	
	男性	自営業 (県内)		調査中	
5009例目	20代	大和高田市	軽症	調査中	
	男性	会社員 (県内)		調査中	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5010例目	10代	香芝市	軽症(軽快)	調査中	
	女性	生徒 (県内)		調査中	
5011例目	10代	大和高田市	無症状	調査中	
	男性	生徒 (県内)		調査中	
5012例目	10代	葛城市	無症状	調査中	
	男性	生徒 (県内)		調査中	
5013例目	10代	広陵町	軽症	調査中	
	男性	生徒 (県内)		調査中	
5014例目	10代	葛城市	無症状	調査中	
	男性	生徒 (県内)		調査中	
5015例目	50代	葛城市	無症状	調査中	
	女性	調査中		家庭内感染	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5016例目	20代	大和高田市	軽症	調査中	
	男性	会社員 (県内)		調査中	
5017例目	70代	広陵町	軽症(軽快)	調査中	
	男性	無職		調査中	
5018例目	70代	広陵町	軽症	調査中	
	女性	無職		調査中	
5019例目	20代	大和高田市	軽症(軽快)	調査中	
	男性	会社員		県内感染者と接触	
5020例目	70代	葛城市	軽症	調査中	
	男性	無職		調査中	
5021例目	10代	御所市	無症状	調査中	
	女性	学生 (大阪府内)		家庭内感染	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5022例目	10代	御所市	軽症(軽快)	調査中	
	女性	生徒 (県内)		家庭内感染	
5023例目	10歳未満	御所市	軽症	調査中	
	女性	乳幼児		家庭内感染	
5024例目	20代	大和高田市	軽症	調査中	
	男性	会社員 (大阪市内)		調査中	
5025例目	60代	橿原市	軽症	調査中	
	男性	会社員 (県内)		調査中	
5026例目	30代	山添村	軽症	調査中	
	男性	会社員 (県外)		県外感染者と接触	
5027例目	50代	天理市	軽症	調査中	
	女性	調査中		調査中	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5028例目	30代	天理市	軽症	調査中	
	男性	団体職員 (県内)		調査中	
5029例目	60代	生駒市	軽症	調査中	
	女性	パートタイマー		調査中	
5030例目	40代	大和郡山市	軽症	調査中	
	女性	団体職員 (県内)		調査中	
5031例目	10代	天理市	無症状	調査中	
	男性	学生 (県内)		調査中	
5032例目	50代	生駒市	軽症	調査中	
	男性	会社員		調査中	
5033例目	70代	三郷町	無症状	調査中	
	女性	無職		家庭内感染	

感染者	年代	居 住 地	現在の状態	濃厚接触者	特 記 事 項
	性別	職 業		推定感染経路	
5034例目	30代	斑鳩町	軽症	調査中	
	男性	会社員		調査中	
5035例目	30代	平群町	無症状	調査中	
	男性	会社員		県外感染者と接触	
5036例目	20代	調査中	重症	調査中	
	男性	調査中		調査中	
5037例目	20代	生駒市	軽症	調査中	※大阪府重複例
	男性	会社員		県外感染者と接触	
5038例目	50代	桜井市	無症状	調査中	
	女性	会社員 (県内)		県内感染者と接触	
5039例目	30代	桜井市	無症状	調査中	
	女性	会社員 (県内)		県内感染者と接触	

4) 感染者数除外例の概要

感染者数除外例	居住地	年代	性別
75例目	三重県	10代	男性

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。また、関係先の撮影に際し、映像や画像により個人や事業者が特定されることのないよう、ご配慮をお願いします。

○県の対応・発熱等の相談について

○ 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。

○ 発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

※ 身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

○ 発熱等の症状がない場合でも、感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

○ 奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象

★ 症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方
(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。)

- ・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内)
- ・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方
- ・医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧 帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

－ 不当な差別や偏見をなくしましょう －

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方々、濃厚接触者、医療従事者等やその家族、その属する施設・機関に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

【県民のみなさまへ】

現在、6都府県に「まん延防止等重点措置」が適用されています。

本県でも3月下旬以降、感染者が高い水準で推移しており、県では、強い危機感を持ち、入院病床及び宿泊療養施設の確保に全力で取り組むとともに、感染防止と重症化予防につとめています。

感染経路の類型を明確化したうえで注意の呼びかけを行うため、最近の感染動向の分析を進めたところ、県外由来の1次感染のうち4分の3が大阪由来であり、県内での2次以降の感染は家庭内が多いということが分かっています。

また、クラスターの発生や変異株の流行に今まで以上の用心が必要です。

県民のみなさまに、感染拡大防止に向けた取組へのご協力をお願いします。

あらゆる場面での注意

- ・奈良県内でも、感染の流行状況が深刻になっています。
- ・ ふだん同居していない人と、マスクなしでの対面は、
徹底して避けましょう

「STOP！感染拡大」緊急メッセージ

大阪由来の一次感染の対策

- ① 大阪市での飲食・カラオケは控えましょう
- ② 通勤や通学などで大阪市へ行く場合も、寄り道しないで、まっすぐ帰りましょう
- ③ 余暇は県内で。屋外や、感染防止対策がとられている場所が安全です

家庭内感染の対策

- ④ 家族に風邪症状の人がでたり、勤務先などで陽性者がでたら、できるだけ、家族と生活を分離しましょう
 - ・食事や寝るときも、家族と別々で
 - ・タオルや食器を、家族と共用しない
 - ・お風呂は、感染しているリスクの高い人が最後に入る

クラスター対策

- ⑤ 医療・福祉施設や職場などで感染者が発生したら、速やかに関係者全員のPCR検査を実施し、陽性者を隔離しましょう
- ⑥ 感染症専門医等による現地指導を受け、施設内のゾーニングや消毒などを徹底しましょう

変異株への対応

- ⑦ 近畿圏内で流行している変異株は英国株です。感染力が強いので、今まで以上に用心しましょう

感染予防のための「3つの徹底」

- ①手洗い、手指消毒の徹底
- ②人との間隔は2m(最低1m)空ける、マスク着用、換気
- ③症状がある場合の外出自粛の徹底